

第12回 海事防災研究会のご案内

神戸大学大学院海事科学研究科 林美鶴、橋本博公

問合せ: 林 mitsuru@maritime.kobe-u.ac.jp

戸倉 kyks@maritime.kobe-u.ac.jp

余寒なお厳しいこの頃、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、第12回海事防災研究会を開催致しますので、ご案内申し上げます。

本研究会は、南海トラフ巨大地震に伴う津波に対する船舶・港湾防災を考える場として2007年に発足し、毎回、行政機関、海事関係企業・団体、教育・研究機関などから、多数のご講演とご参加を頂いています。現在は海洋環境への影響も対象としており、今後は津波以外の自然災害も対象として、多様なマリンハザードに取り組むことになりました。災害時の船舶利用やBCPなど「海事防災」を多角的に捉えて、レジリエンスの高い社会作りに貢献したいと考えています。

多数の方にご参加頂き、多面的なご助言、ご提案を頂戴できれば幸甚です。

尚、ご来聴は無料で、事前連絡の必要はございません。関係各所へご案内頂ければ幸いです。

開催日 2019年2月15日(金)
場所 神戸大学 深江キャンパス(阪神「深江」南西徒歩5分)
<http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/map/>
4号館3F 4301教室



- 1250- 開会挨拶・趣旨説明 林美鶴(神戸大)
座長 林美鶴(神戸大)
- 1300- 「津波災害調査・解析報告 一近年の事例から一」*
越村俊一(東北大学 災害科学国際研究所)
- 1330- 「海洋レーダによる津波観測技術」*
藤井智史(琉球大学 工学部)
- 1400- 「津波を再現する水槽試験法の開発と津波来襲時の船舶港外避難の検討」
橋本博公・大村智之(神戸大学 海洋底探査センター／大学院海事科学研究科)
- 1430- 「調査研究船の災害時の行動について(仮)」
渡邊佳孝(海洋研究開発機構 海洋工学センター／神戸大学大学院 海事科学研究科)
- 1500- 休憩
座長 橋本博公(神戸大学)
- 1515- 「関西広域連合の南海トラフ地震対策」*
高見隆(関西広域連合 広域防災局)
- 1545- ～深江丸の活用事例～
「船舶を活用した海上移動型放射線モニタリングシステムの開発」
金崎真聡(神戸大学大学院 海事科学研究科)
「災害時の深江丸透析利用(仮)」
矢野吉治・林美鶴(神戸大学大学院 海事科学研究科)
- 1615- 「平成30年豪雨による海洋における被災状況について」*
中田聡史(国立環境研究所)
- 1645- 「台風21号による深江の高潮(仮)」
林 美鶴(神戸大学 内海域環境教育研究センター／大学院海事科学研究科)
- 1715- 閉会挨拶 橋本博公(神戸大学)
* 招待講演

研究会終了後、簡単な情報交換・交流会を予定しています。

- ・本研究会は、神戸大学震災復興支援・災害科学研究推進室「東北大学等との連携による震災復興支援・災害科学研究推進活動」により実施しています。
- ・(公財)住友電工グループ社会貢献基金「大学講座寄付」による「津波マリンハザード研究講座」の成果を、<http://blog.canpan.info/marhazard/> で公開しています。